

誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくり

出会うてつながって対話して

一人ひとりが自分らしさを発揮できるまち吹田

1 支え合う

1-1 身近な地域での支え合い活動の活性化

1-2 多様な主体が参画する仕組みづくり

1-3 共に生きる福祉の心の育成

1-4 地域で活動している人や団体のつながりの深化、協働の促進

2 認め合う

2-1 一人ひとりに寄り添う支援

2-2 みんなが生きがいを感じられるまちづくり

2-3 地域のさまざまな機関や団体と連携

3 響き合う

3-1 「ふだんのくらしのしあわせ」が広がる情報発信

4 高め合う

4-1 地域福祉推進のための組織の基盤強化

4-2 災害に強い組織づくり

4-3 地域福祉活動を充実させるための財源確保、善意の循環

4-4 対話を大切にしたい計画の進行管理

2.認め合う

案

吹田には、生活困窮やひきこもり、認知症や不登校、**ヤングケアラー**などさまざまな生きづらさや生活課題を抱えた人たちがいます。生活課題の解消に向け、吹社協内外のつながりを活かして、一人ひとりに合ったサポートを行います。また生きづらさを抱えながらも、地域の中でつながりを持ち、お互いを認め合い、自分らしく生活できる地域づくりを目指します。

2-1 一人ひとりに寄り添う支援

生活様式の多様化やさまざまな社会問題などにより、生きづらさや悩みを抱える方が増加している一方で、自ら助けを求めることが難しい方もいます。今後も支援を必要とする方とつながりを持てるように、積極的に地域に出向く支援を行います。

また、相談者一人ひとりが個々の価値観を持った生活者であることを意識し、本人の価値観を尊重する、本人のペースに合った支援を行います。

【懇談会や策定委員会、4次計画評価での声】

- ・ **CSW** は柔軟性のある支援形態で住民の困りごと等に寄り添って下さり地域に一番身近な専門職である。（地区福祉委員）
- ・ 生活困窮者への自立支援活動は社協だから柔軟にできる事業だと思うので引き続き推進して欲しい。特に**アウトリーチ**の手法は評価できる。（地区福祉委員）
- ・ **重層的支援体制整備事業**が来年から始まる。**アウトリーチ**で発見し、**伴走**型で社協 **CSW** と一緒に活動していきたい。（市職員）
- ・ 本人たちが望む生活を実現するための**権利擁護支援**であることへの理解を広げたい。（権利擁護関係機関）
- ・ 貸付業務はコロナ後のフォローが、相当時間がかかるように思う。地道に返済者の支援を続けていただきたい。（地区福祉委員）
- ・ 制度の狭間に陥っている方、複合的な課題を抱えている方が増えているように感じる。支援につながらない人が生まれないよう、連携して支援していきたい。（民生・児童委員）
- ・ しんどさを抱えている人がつながりをつくるためのきっかけをサポートすることが大切。（策定委員）

【キーワード】 **アウトリーチ**、**伴走**、本人のペースに合わせる、**本人に合ったつながり**、参加支援

【今後の取組み】

- ・ これまでの積極的な**アウトリーチ**や断らない相談支援を継続し、誰も取り残されない相談支援を行います。
- ☆生きづらさや複雑な生活課題を抱えた世帯に対しては、個々のペースに合わせた支援内容を検討し、吹社協の専門性を生かして**伴走**支援を行います。
- ・ 相談者が、地域社会とのつながりや参加の機会を持ち、孤立しないよう、本人の力がより発揮されるようサポートします。

取組み紹介 2-1

地域の身近な相談員 「CSW」

「地域の生活・福祉の相談員」として、市内 13 名の CSW が吹社協に配置されています。

相談対象や内容を限定せず、**アウトリーチ**を通じた支援を特徴とした相談員です。主に地区福祉委員会が行う地域福祉活動や個人の生活上の困りごとのサポートを行い、誰も孤立しないまちを目指して活動しています。

今後も、積極的に地域に出向き活動していきます。



経済的にお困りの方に寄り添いサポートします 「くらしサポートセンターすいた」

社会福祉法人みなと寮との共同体で、生活困窮者自立支援事業を吹田市より受託しています。経済的な困りごとや生活の不安を抱える方の相談に応じ、就労支援や住まいに関する支援、家計に関する助言、ハローワークなどの専門機関への取り次ぎなどを、ご本の状況やペースに合わせて行っています。

写真準備中

「ワタシらしく暮らしたい」のお手伝い 「けんりサポートすいた」

「権利擁護支援」の中核機関として、吹田市から受託しています。認知症や知的障がい、精神障がいにより、判断能力が十分でない方が、自分らしく安心して暮らすことができるようサポートする専門機関です。

ご本人を中心に、生活に伴走する権利擁護支援チームと一緒にご本人の生活をサポートします。

